

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	1717.9	0	1701.0	0	1648.0	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	90.7	0	100	0	120	0
米粉用米	-	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	-	0	0	0	0	0
WCS用稲	600	0	600	0	600	0
加工用米	0	0	0	0	0	0
麦	10.6	10.1	13.0	12.5	14.0	13.5
大豆	52.8	0	62.0	0	63.0	0
飼料作物	428.1	296.7	425.0	295.0	430.0	300.0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	0.3	0	1.0	0	1.2	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	1	0
高収益作物	99.1	0	102.5	0	117.4	0
・野菜	87.1	0	91.2	0	100.0	0
・花き・花木	10.8	0	10.0	0	15.0	0
・果樹	0.4	0	0.4	0	1.2	0
・その他の高収益作物	0.8	0	0.9	0	1.2	0
その他	0	0	0	0	0	0
畑地化	0.64	0	3.9	0	6.0	2.0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	大豆・麦	大豆・麦集積加算 （期間・二毛作）	大豆・麦 導入面積 （ha）	（令和5年度） 56ha	（令和7年度） 77ha
2	飼料用米	飼料用米生産向上支援 （多収品種）（基幹）	飼料用米（多収品種） 生産性向上の取組実施面積	89ha	110ha
			10aあたりの単収（kg）	537kg/10a	545kg/10a
3	重点推進作物	重点推進作物助成 担い手（基幹）	重点推進作物の導入面積（担い手） （ha）	42ha	70ha
4		重点推進作物助成 一般（基幹）	重点推進作物の導入面積（一般） （ha）	11ha	20ha
5	畑地化推進作物	畑地化推進作物助成（基幹）	畑地化推進作物の導入面積 （ha）	44ha	57ha
6	そば・なたね	そば・なたね 取組（基幹）	そば・なたね面積 導入面積（ha）	0ha	1.2ha
7	WCS	WCS生産性向上支援 （専用品種）（基幹）	専用品種導入割合 （%）	42.5%	50.0%

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:大分県

協議会名:竹田市農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	大豆・麦集積加算(基幹)	1	23,000	大豆・麦	認定農業者等で、播種前契約をしているもの。 面積要件は、大豆は5ha以上、麦は2ha以上。
1	大豆・麦集積加算(二毛作)	2	23,000	大豆・麦	
2	飼料用米生産性向上支援 (多収品種)(基幹)	1	6,000	飼料用米(多収品種)	国指定専用品種もしくは知事特認専用品種の作付け等
3	重点推進作物助成担い手 (基幹)	1	19,000	アスパラガス・インゲン類・ほうれん草・春菊・小松菜・チンゲン菜・大麦若葉・いちご・きゅうり・ピーマン・トマト・ミニトマト・なす・われもこら・ユリ・菊・リンドウ・アルストロメリア・ほおずき・トルコギキョウ・カボス・ぶどう(ピオーネ、シャインマスカット)・プラム・柿・栗・いちじく・キウイ・ブルーベリー・ネクタリン・ゆず、ちよろぎ・サフラン・ムラサキ	販売目的で対象作物を生産する、認定農業者等。 面積要件は、ちよろぎ、サフラン、ムラサキは1a、それ以外は5a。
4	重点推進作物助成一般 (基幹)	1	17,000		販売目的で対象作物を生産する販売農家。 面積要件は、ちよろぎ、サフラン、ムラサキは1a、それ以外は5a。
5	畑地化推進作物助成 (基幹)	1	23,000	スイートコーン・ネギ類・大根・人参・キャベツ・レタス・白菜・にんにく・里芋・ゴボウ・かぼちゃ	販売目的で対象作物を生産する販売農家。 面積要件は、10a。
6	そば・なたねの取組(基幹)	1	20,000	そば・なたね	販売目的で対象作物を生産する販売農家。 面積要件は、10a。
7	WCS生産性向上支援 (専用品種)(基幹)	1	6,000	WCS(専用品種)	戦略作物助成対象のWCSを専用品種で作付け等

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。